

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アクアキッズみさと団地教室		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 17日 ~ 2025年 12月 12日		
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	21	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年 11月 17日 ~ 2025年 12月 12日		
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的な設備（遊具）を使用し、遊びの中で効果的な身体づくりや感覚統合を促すことができるため、子どもたちがやらされているのではなく、楽しみながら遊ぶ中で成長することができる。	子どもたち一人一人の特性や発達段階に応じて、同じ活動でもその難易度を調整する（スマールステップ）ことで、達成感と成功体験を詰めるように心がけている。	療育の中から課題を見つけ、それに必要な知識や技術を身に付けるための研修を内部外部問わず実施している。
2	保育士や幼稚園教諭、看護師などの資格を持った職員が、専門的な知識をもって多角的に子供たちの成長発達を促すことができる。	生活習慣や活動の見通しなど、反復することで習得すること、新しい活動を導入し、新鮮な刺激とチャレンジ精神を養っていく事とのバランスを考え、楽しく飽きなく療育に参加することができるよう心掛けている。	子ども達の成長発達に必要と判断した療育器具や備品を取り揃え、過不足なく活動内容を計画実施できるように努めている。
3	完全送迎を行い利用児童並びにご家族の生活リズムや家庭事情に合わせて利用しやすい環境を整えると共に、幼稚園や保育園との併用にも柔軟に対応することで、集団生活による発達の促進や、集団生活における困りごとや難しさに対しても支援を行うことができる。	小学校に向けて座位の安定と集中力の向上を目的とした身体づくりを行い、必要な発達を促すだけでなく、学ぶための基礎能力をつけることで成長発達がより良く伸ばせるように心がけている。	相談体制を強化し、子育てに関する事や発達に関する事、健康に関する事など、幅広く子どもたちやご家族の疑問や悩みに対応できるよう心がけている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定員数により、ニーズがあっても引き受けられない場合が多くなっている。	一事業所では引き受け可能数が少なく、柔軟な対応が難しい。	ニーズに応えて行くために、新店舗を検討していく。
2	送迎する児童が多い為、送迎時間が伸びてしまっている。	保育園・幼稚園・自宅など、様々な場所への送迎を受け入れている為、ルート選定が難しく、道路状況に影響を受けやすい。	ニーズに応えて行くために、新店舗を検討していく。
3	現在の児発管以外では健康面での相談に乗ることが難しい。	障害児通所支援事業の従事者で、看護師の資格を所持している人材が少ない。	施設内外での研修や勉強会を企画、参加し、職員全員の知識の底上げを行っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		アクアキッズみさと団地教室							公表日	2025年 12月 25日		
		利用児童数							21人	回収数	13	
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応			
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12			1						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11			2						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12			1						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12			1						
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13									
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13									
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13									
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13									
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13									
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13									
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	1	7						
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13									
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13									
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2	2	5						
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	13									
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13									
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12			1						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		5	7						
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12			1						

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8		1	4		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1				
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		5		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1		8		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			2		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			1		
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	13					
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	1		本人の気分の乗らないこともあります が、通所できた時には楽しそうに活動で きていると思います。	いつも楽しく通ってきてくれて嬉しいです。無 理なく楽しく飽きない活動を計画して、お子さんの 成長発達に寄与できるよう、今後もより一層精進し てまいります。	
	29 事業所の支援に満足していますか。	13			月に一度通っている体育センターで行われている事と同じ支援。それ以上に子供の発達に合わせた活動を体験させてもらっています。 決して広くはない場所の中でも、それを感じさせないほど十分に身体を動かし、楽しく取り組めるプログラムが提供されていると思います。 いつもありがとうございます。子どもの成長を少しずつですが感じられて います。会員とおもしろいお話し会など	身体づくりは子供の成長発達を支える基礎となる部分ですので、子ども一人一人に合った活動量と負荷量を見極めながら、活動を設定しております。運動に合わせて言語や認知機能を伸ばす活動を取り入れておりますので、ともにお子さんの成長を見守っていけば幸いです。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		アクアキッズみさと団地教室					公表日	2025年 12月 25日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	・午前午後に利用児童が均等に分かれるように調整をして、スムーズに活動が出来るようにしている。		・人数が多くなるとスペース的に手狭さを感じる場面がある。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・必要人員に加え、子どものニーズや状況に合わせて個別に対応できるように職員を配置している。				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・玄関は日本の文化、習慣に合わせた設計であるが、マットで保護をしてケガに繋がらないようにしている。		・玄関と指導室の境に段差がある。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	・刺激物は出来るだけ取り除き、環境構成は日々行なうようにしている。				
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	5	・別室に落ちくために過ごす部屋を用意している。		・マットで仕切りを作つて個別の部屋を作るなどの工夫は出来るが、常設して置くことはスペース的に難しい。		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	5	・朝礼時の打ち合わせや振り返り、職員会議を通じて共通認識を高める他、支援の計画、評価、反省を随時行なっている。				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・前年同様に頂いた意見を職員会議の中で十分に検討し、保護者の皆様の想いを元に子どもの発達に寄与できるよう、支援に反映させて行きたい。				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・風通しが良く、相談しやすい職場環境を作り、相談内容を必要に応じた形で業務改善に役立てている。 ・朝礼で機能のレッスンの振り返り、指導員の対応やどう対応するといい姿が見られたかを毎時指導員間で共有している。				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	行っていない。必要応じて検討する。				
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	3	・内部、外部共に広く研修の機会を確保している。				
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2	・ホームページやパンフレットに支援プログラムを公表している。				
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	2	・保護者との面談を通して、保護者の思いと子どもの発達の姿を踏まえた発達課題を設定し、課題に基づいた支援計画を作成している。				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2	・職員一人一人が持っている子どもの情報を会議の場で確認し、全員が共通理解をもって支援計画を作成するようにしている。				
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2	・児童発達支援計画は作成から発行に至るまで、全職員にて共有し、支援に生かしている。				
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	・基本情報シートに基づいてアセスメントを行なっている。				
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	・各支援項目を網羅する形で支援内容を考慮し、設定するように心がけている。				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	・リーダーを中心として、週替わりで活動プログラムを作成している。				
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・リーダーを中心として、週替わりで活動プログラムを作成している。 ・子どもたちの興味のある題材を用いながら、粗大・微細運動、SSTでプログラムを考えている。				

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	集団活動と個別活動のメリット・デメリットを理解し、子どもが興味をもって参加でき、効果的に療育の内容が見につくように計画に盛り込んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・朝礼にてリーダーが主となって当日の活動を確認し、活動内容や準備の担当等、共通理解を持つて支援が効果的に実施されるよう心がけている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・毎日行った支援について、個別支援記録を付け、職員間でいつも子どもとの状況を確認できるようにしている。 ・送迎があり当日時間が取れない場合は、翌日の朝礼で振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	・上記の支援記録のほか、連絡帳にも日々の記録を取り、発達の評価と支援の見直しを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	・定期的に保護者との面談を実施し、ニーズや課題の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達管理責任者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・子育て支援部会が発足した児発ネットに参加し情報共有をしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・幼稚園後、保育園後の子どもの利用に広く対応し、送迎時などに情報共有を行うことで支援のすり合わせや課題の共有を行い、多角的に子どもを支援できる関係強化を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・必要に応じて、各学校との連携強化のための市情報共有を行えるようにしている。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3	今まで事例はないが、困難事例の際にはアドバイスを活用していきたい。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	・保育所や幼稚園通園後のお子さんの利用を広く受け入れているが、一緒に活動する機会はない。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・送迎時に施設での様子や行った支援の内容、発達の状況などについて報告を行っている。	
母	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6	・市の発達支援施設がペアレント・トレーニングを担っているため実施していない。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時に重要事項説明書を用いて説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・保護者との面談を通して、保護者の思いと子どもの発達の姿を踏まえた発達課題を設定し、課題に基づいた支援計画を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・保護者との面談を通して、保護者の思いと子どもの発達の姿を踏まえた発達課題を設定し、課題に基づいた支援計画を作成している。完成した支援計画は保護者に確認していただき同意を得ている。	
母	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・保護者からの相談には内容にかかわらず隨時対応を行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	・利用されているお子さんが同じ保育園・幼稚園が幼稚園に通われているなど、個人情報保護の観点からクリアすべき課題が多く、難しいため行えていない。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	保護者からの相談には内容にかかわらず隨時対応を行っている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	3	・会報等は発行していないが、日々の送迎時やSNSを通して綿密な連絡体制を取っている他、その日の活動については連絡帳を用いて情報共有している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報は鍵付きのキャビネットで保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・わかりやすい言葉や、視覚情報を用いて意思の疎通、情報伝達を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	・地域住民との関係は良好に保っているが、イベント等への招待などは行っていない。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・各種マニュアルの整備や必要な災害・防災訓練を実施し、連絡帳を通じて保護者へと周知している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・BCPを策定し完備している。訓練に関しては前項目の通り。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・利用面接時、引受時等に既往や服薬の聞き取りを実施している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・該当者がおらず実施していないが完全除去対応としている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・安全計画を策定し完備してある。安全計画に基づいて支援を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・子どもの安全に関して適宜情報共有すると共に、SNSを通じて連絡体制を構築し、連携が取れるようにしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2	・ヒヤリハット事例は何時でも見られるようまとめである。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・内部研修を実施している。外部研修についても導入検討中である。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・子どもの状況により、身体保護・精神的安定を目的として、身体拘束方法について支援計画に記載、説明を行っている。実施事例はない。	